

# 平成16年度中間決算概要

～ 中間決算のポイントと経営概況～

平成16年11月17日

 東北電力株式会社

## 平成16年度中間決算のポイント

- 1. 16年度上期販売電力量・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
- 2. 大口電力の伸び率・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 4
- 3. 16年度中間売上高，経常利益・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5
- 4. 特別損失，中間純利益・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
- 5. 16年度見通し・・・・・・・・・・・・・・・・ P 7

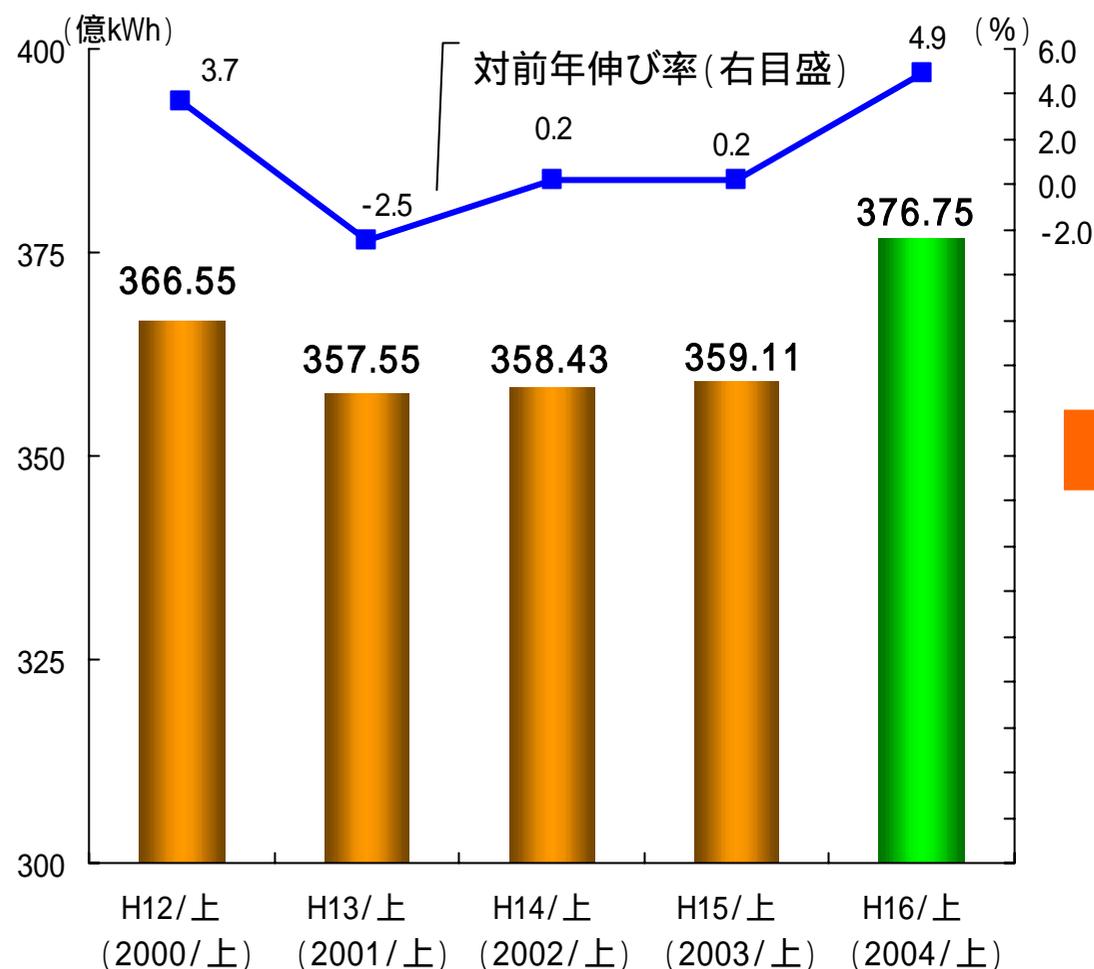
## 経営概況

- 1. 経営の基本目標と最重要課題・・・・・・・・・・・・・・・・ P 9
- 2. 主要定量目標の推移・・・・・・・・・・・・・・・・ P 10
- 3. 定量目標と進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・ P 11
- 4. 販売拡大活動の状況・・・・・・・・・・・・・・・・ P 12
- 5. オール電化住宅の導入拡大・・・・・・・・・・・・・・・・ P 13
- 6. 業務用電化厨房の導入拡大・・・・・・・・・・・・・・・・ P 14
- 7. 料金戦略（料金引下げ）・・・・・・・・・・・・・・・・ P 15

---

# ・平成16年度中間決算のポイント

**販売電力量 376億7,500万kWh**  
**対前年同期比 +4.9%**



(単位:百万kWh, %)

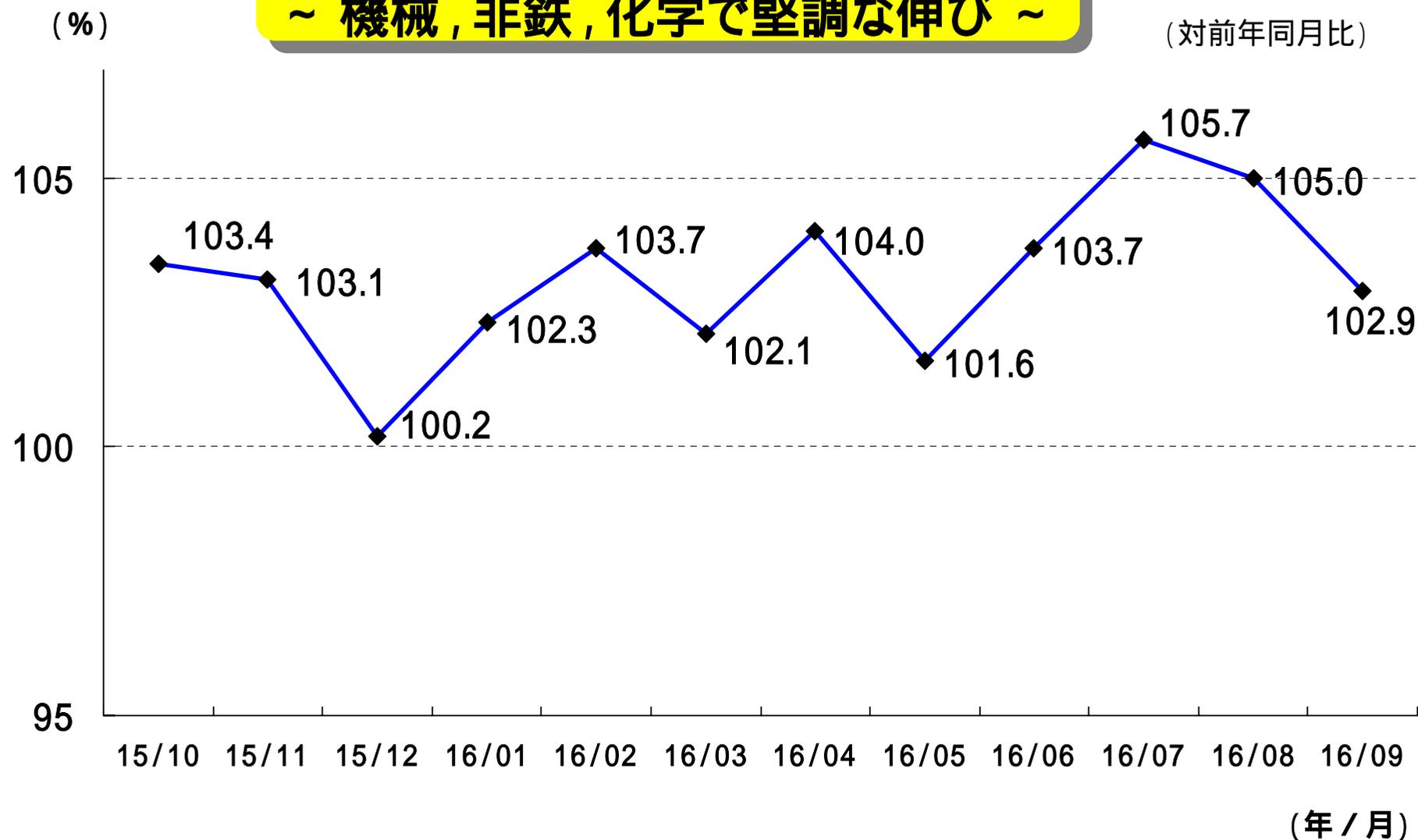
| 区分                  |     | 16年度<br>上期<br>(A) | 15年度<br>上期<br>(B) | 前年<br>同期比<br>(A/B) |
|---------------------|-----|-------------------|-------------------|--------------------|
| 特定規模需要<br>以外の<br>需要 | 電 灯 | 10,858            | 10,372            | 104.7              |
|                     | 業務用 | 5,530             | 5,201             | 106.3              |
|                     | 小 口 | 5,871             | 5,549             | 105.8              |
|                     | その他 | 729               | 744               | 98.1               |
|                     | 計   | 12,130            | 11,494            | 105.5              |
| 電灯・電力計              |     | 22,988            | 21,866            | 105.1              |
| 特定規模需要              |     | 14,687            | 14,045            | 104.6              |
| 販売電力量計              |     | 37,675            | 35,911            | 104.9              |

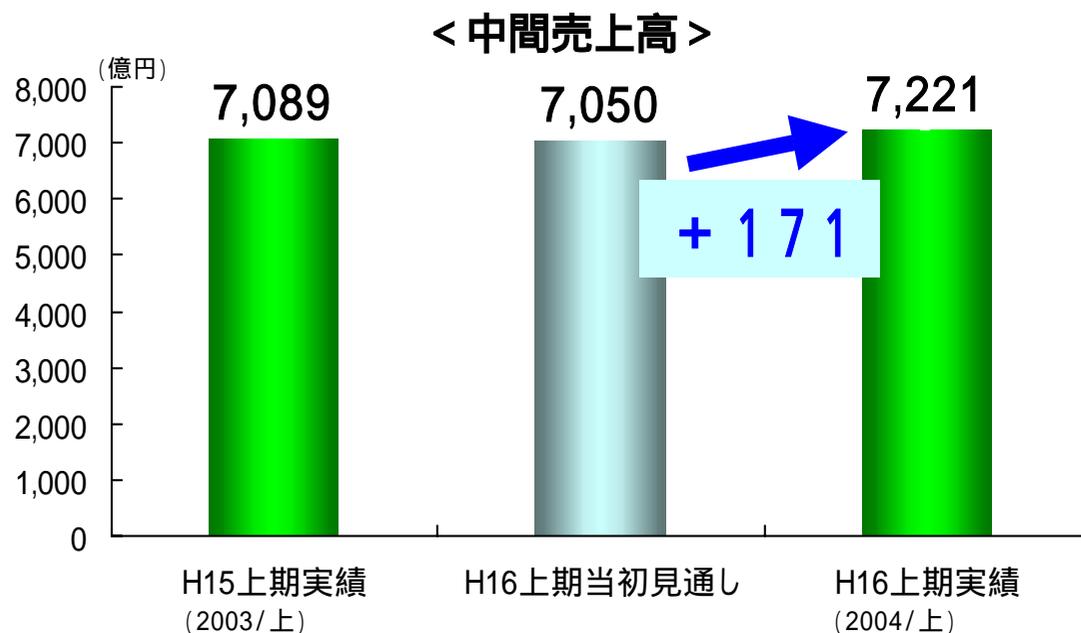
[参考]

|          |        |        |       |
|----------|--------|--------|-------|
| 大口電力(再掲) | 12,323 | 11,871 | 103.8 |
|----------|--------|--------|-------|

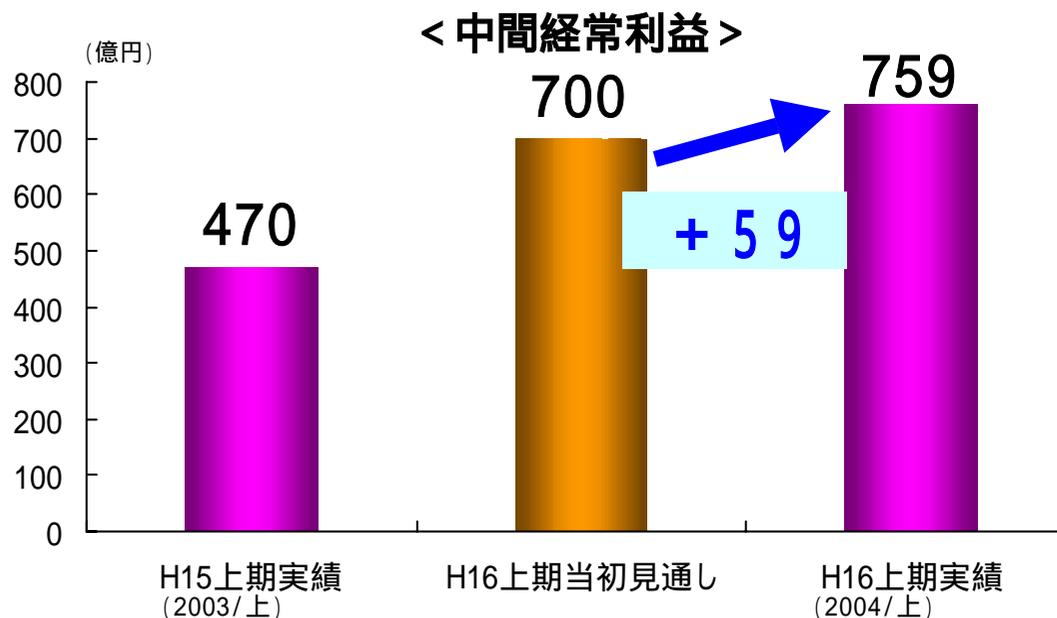
## - 2 . 大口電力の伸び率

14ヶ月連続で対前年同月を上回る  
 ~ 機械, 非鉄, 化学で堅調な伸び ~





中間売上高 7,221億円  
 対前年同期比 +1.9%  
 当初見通しから +171億円



中間経常利益 759億円  
 対前年同期比 +61.3%  
 当初見通しから +59億円

中間経常費用 6,495億円  
 対前年同期比 2.1%

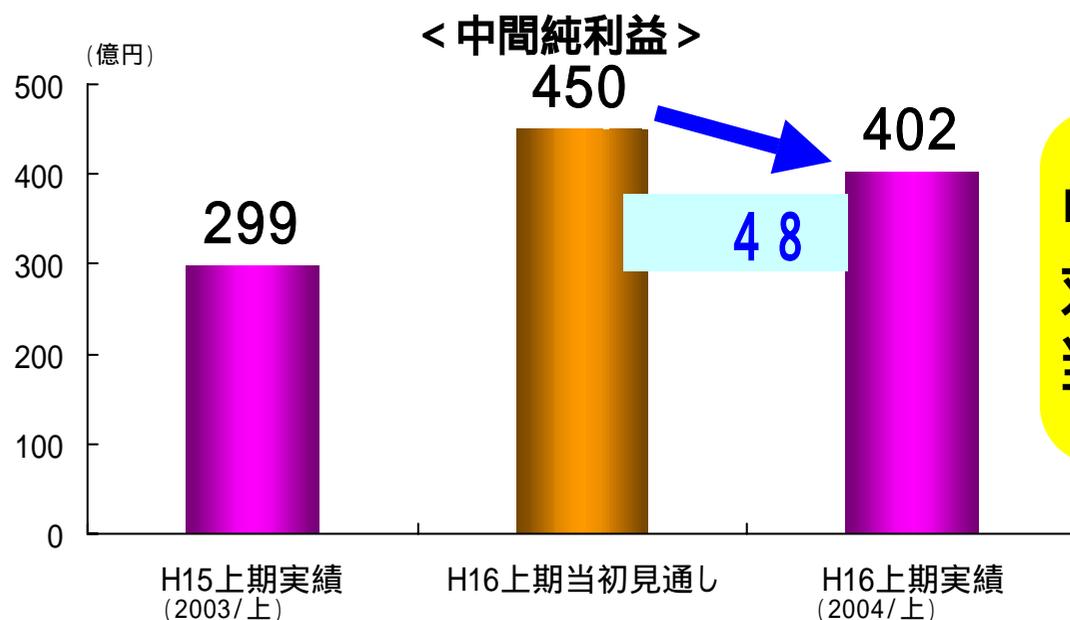
- 修繕費 (129億円)
- 減価償却費 (88億円)
- 支払利息 (51億円)
- 燃料費 (50億円)

特別損失 99億円

(内 訳)

減損会計の早期適用による減損処理 (60億円)

巻原子力発電所建設協力金の損失処理 (39億円)

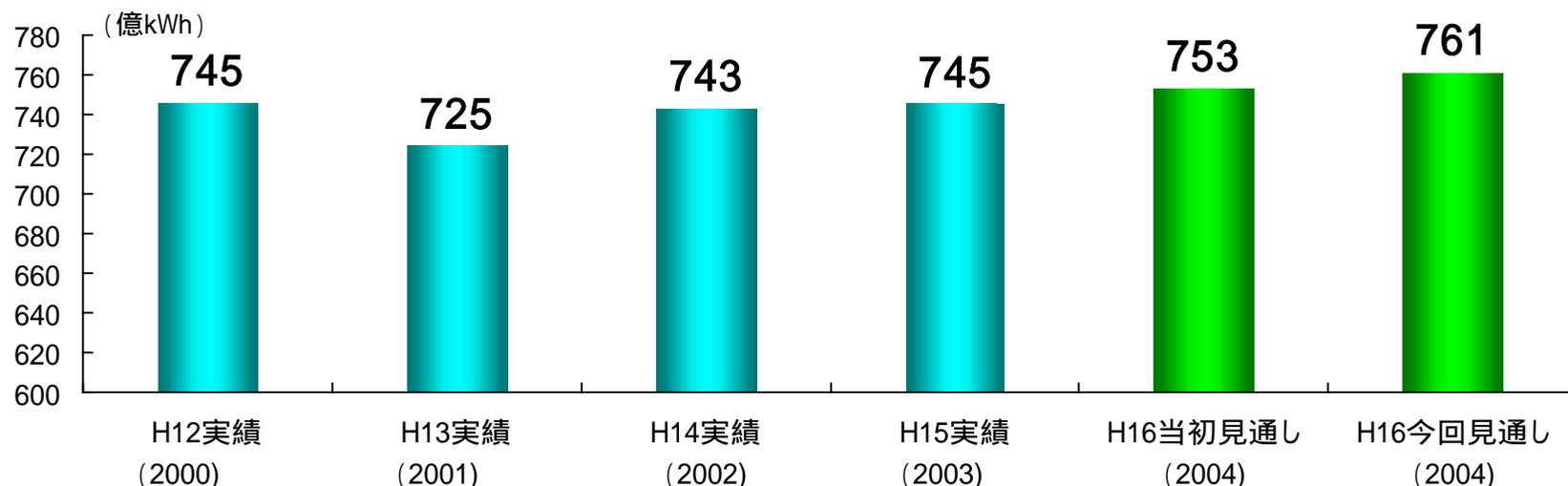


中間純利益 402億円  
対前年同期比 +34.5%  
当初見通しから 48億円

## < 販売電力量見通し >

当初見通し 753億kWh

今回見通し 761億kWh



## < 業績見通し >

料金引下げに伴う150億円の減収含む

(単位: 億円)

|       | 今回見通し(A) | 当初見通し(B) | (A) - (B) | H15実績(C) | (A) - (C) |
|-------|----------|----------|-----------|----------|-----------|
| 売上高   | 14,300   | 14,300   | -         | 14,476   | 176       |
| 営業利益  | 1,400    | 1,500    | 100       | 1,670    | 270       |
| 経常利益  | 850      | 1,000    | 150       | 978      | 128       |
| 当期純利益 | 450      | 650      | 200       | 480      | 30        |

減収減益の見通し

---

## ・経営概況

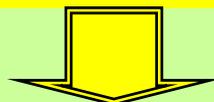
## - 1. 経営の基本目標と最重要課題

長期経営ビジョン(平成12年3月策定)で掲げる  
企業グループ像

お客さまから選択される複合エネルギーサービス企業

16年度中期経営方針・基本目標

私たちは、お客さまに喜ばれる  
エネルギーサービスを提供します



3つの主要施策

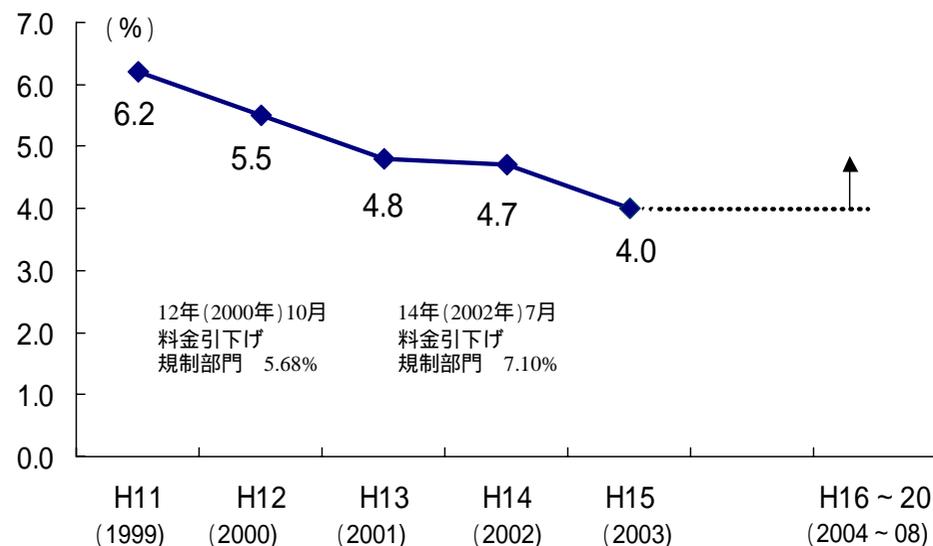
収益拡大への取組み

企業信頼度向上への取組み

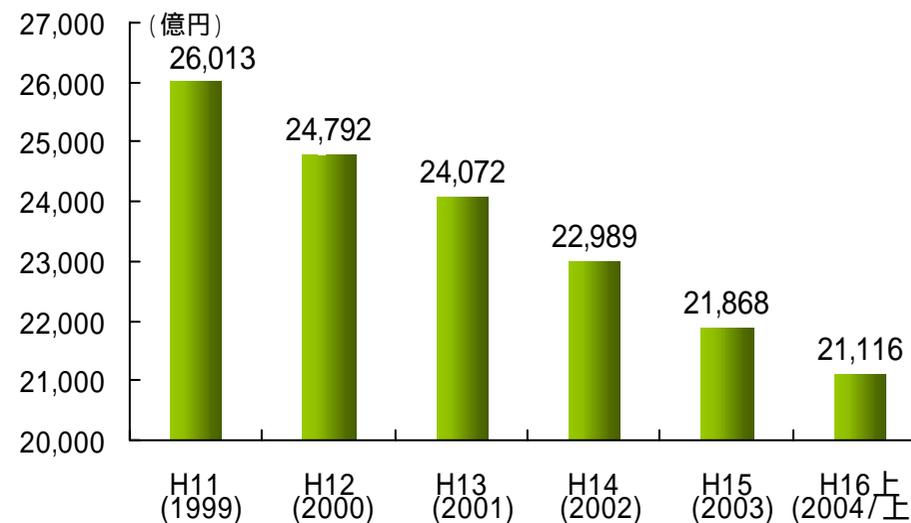
収益拡大と企業信頼度向上に資する  
企業グループ大の事業推進体制強化

## - 2 . 主要定量目標の推移

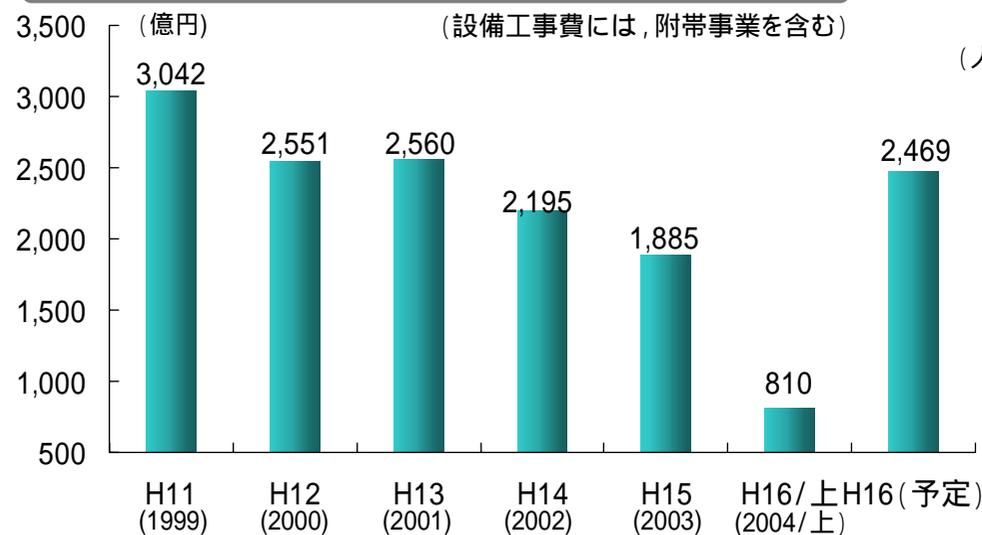
ROA (H16～20平均4.0%以上)



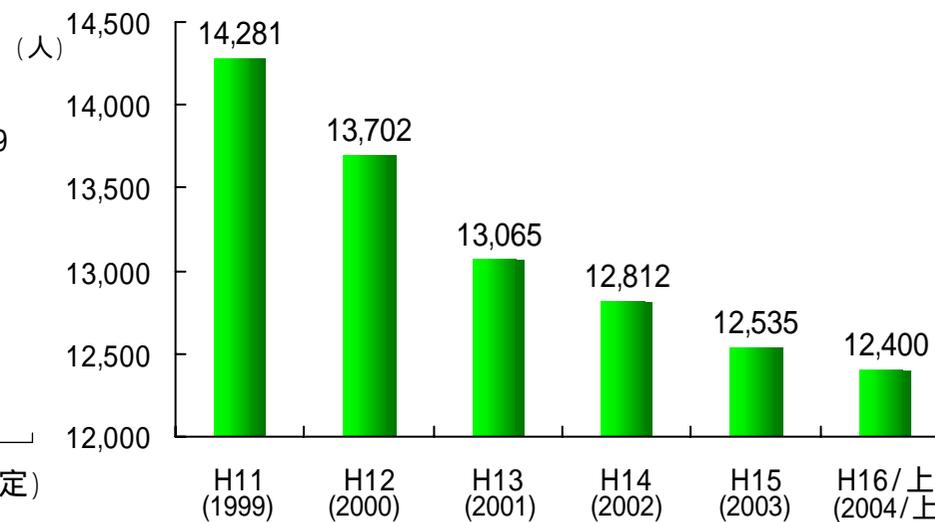
有利子負債(H20年度末までに1兆8,000億円以下)



設備工事費 (H16～18平均2,000億円以下)



従業員数(H18年度末までに12,000名程度)



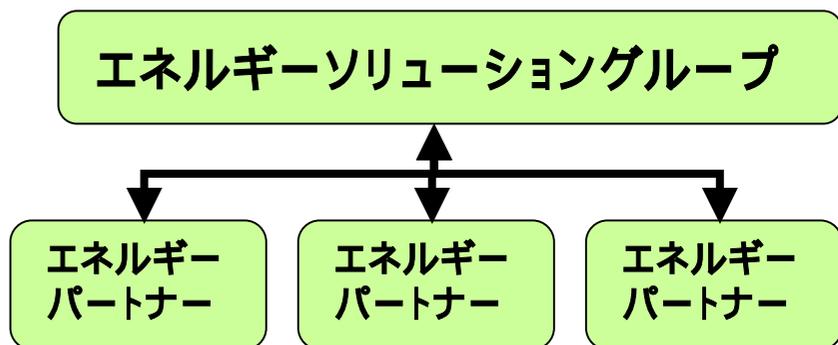
## - 3 . 定量目標と進捗状況

| 財務目標                 |                   |                       | 平成16年度中期経営方針<br>における定量目標 | 至近の実績      |          |
|----------------------|-------------------|-----------------------|--------------------------|------------|----------|
|                      |                   |                       |                          | 平成16年度上期実績 | 平成15年度実績 |
|                      | 総資産営業利益率<br>(ROA) | 連結                    | 16～20年度5ヵ年平均4%以上         | 2.9%       | 4.3%     |
| 単独                   |                   | 16～20年度5ヵ年平均4%以上      | 2.9%                     | 4.3%       |          |
| 有利子負債残高              | 連結                | 20年度末までに1兆9,000億円以下   | 2兆2,471億円                | 2兆2,908億円  |          |
|                      | 単独                | 20年度末までに1兆8,000億円以下   | 2兆1,116億円                | 2兆1,868億円  |          |
| 株主資本比率               | 連結                | 20年度末までに25%以上         | 22.5%                    | 21.3%      |          |
|                      | 単独                | 20年度末までに25%以上         | 22.5%                    | 21.5%      |          |
| フリーキャッシュフロー<br>(FCF) | 連結                | 16～18年度3ヵ年平均1,900億円以上 | 1,270億円                  | 2,521億円    |          |
|                      | 単独                | 16～18年度3ヵ年平均1,700億円以上 | 1,112億円                  | 2,283億円    |          |

| 効率化目標<br>(単独) |  |                        | 平成16年度中期経営方針<br>における定量目標 | 至近の実績      |          |
|---------------|--|------------------------|--------------------------|------------|----------|
|               |  |                        |                          | 平成16年度上期実績 | 平成15年度実績 |
| 設備工事費         |  | 16～18年度3ヵ年平均 2,000億円以下 | 810億円                    | 1,885億円    |          |
| 従業員数          |  | 18年度末までに 12,000人程度     | 12,400人                  | 12,535人    |          |
| 修繕費           |  | 16～18年度3ヵ年平均 1,600億円以下 | 695億円                    | 1,583億円    |          |

## 販売推進体制の強化

本店お客さま本部内に「お客さま提案部」を設置（16年6月）



お客さまのニーズに対して、当社グループが保有する専門的な技術力・ノウハウを最大限に活用し、解決策を提示

...

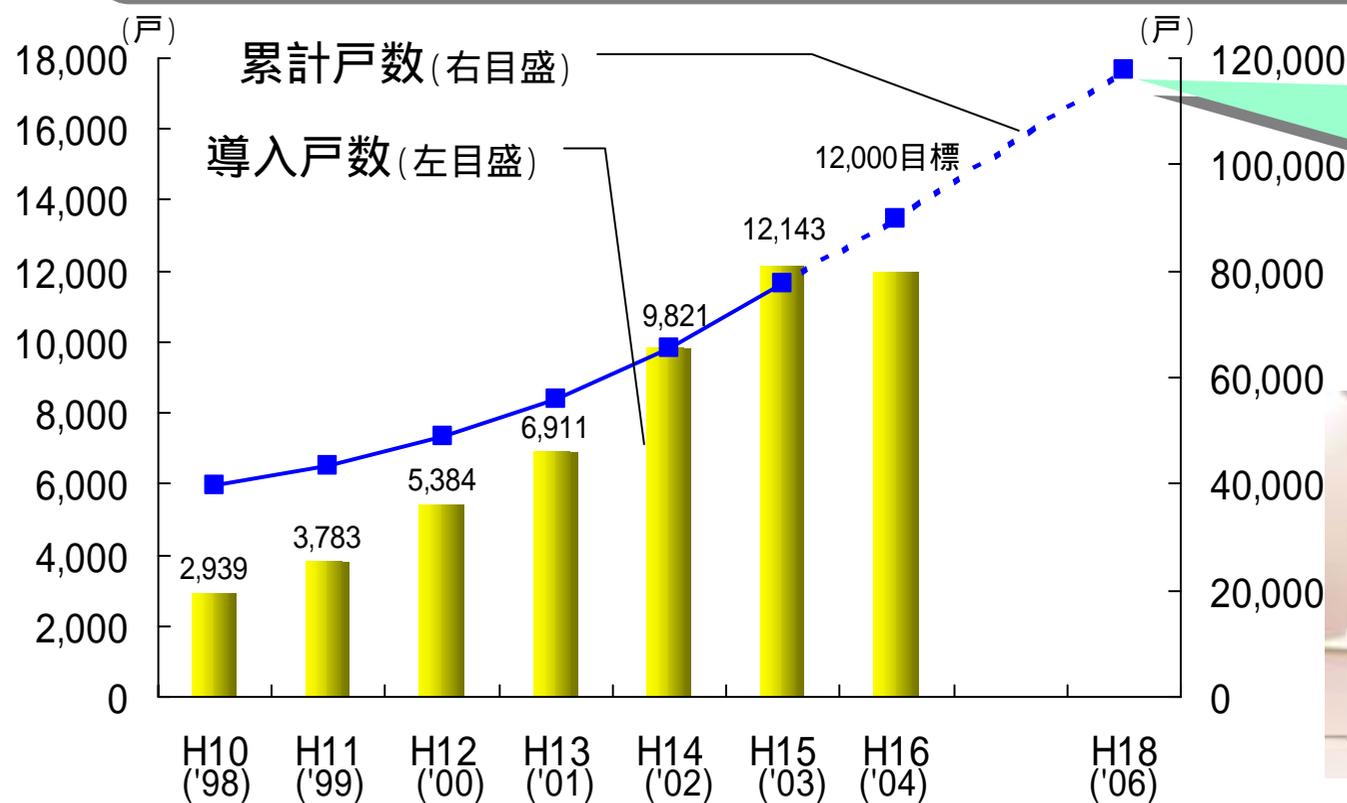
新たな販売拡大目標を設定し、今後平成20年度までの5年間で10億kWh程度の需要創出を目指す。

|               | 平成16年度中期経営方針                               | 上期実績     |
|---------------|--|----------|
| 販売電力量         | 平成20年度までに10億kWh程度創出                        | 約1億kWh   |
| オール電化住宅導入     | 平成16～18年度で4万户程度拡大                          | 5,919戸   |
| IHクッキングヒーター導入 | 平成16～18年度で5万台程度拡大<br>(オール電化住宅設置分以外のIH単体導入) | 8,900台   |
| 業務用電化厨房導入     | 平成16～18年度で8万kW程度拡大                         | 12,221kW |
| 蓄熱等空調システム導入   | 平成16～18年度で3万kW程度拡大                         | 6,403kW  |

# - 5 . オール電化住宅の導入拡大

オール電化住宅の16年度上期の新規導入戸数は、  
**5,919戸**…前年同期比**7.0%増** (累計**83,676戸**)

16年度は12,000戸をオール電化の導入目標としているが、上期実績で  
 新設住宅着工戸数**43,443戸**のうち**5,919戸**が**オール電化住宅**であり、  
 その採用率は**13.6%**と順調な伸びを示している。



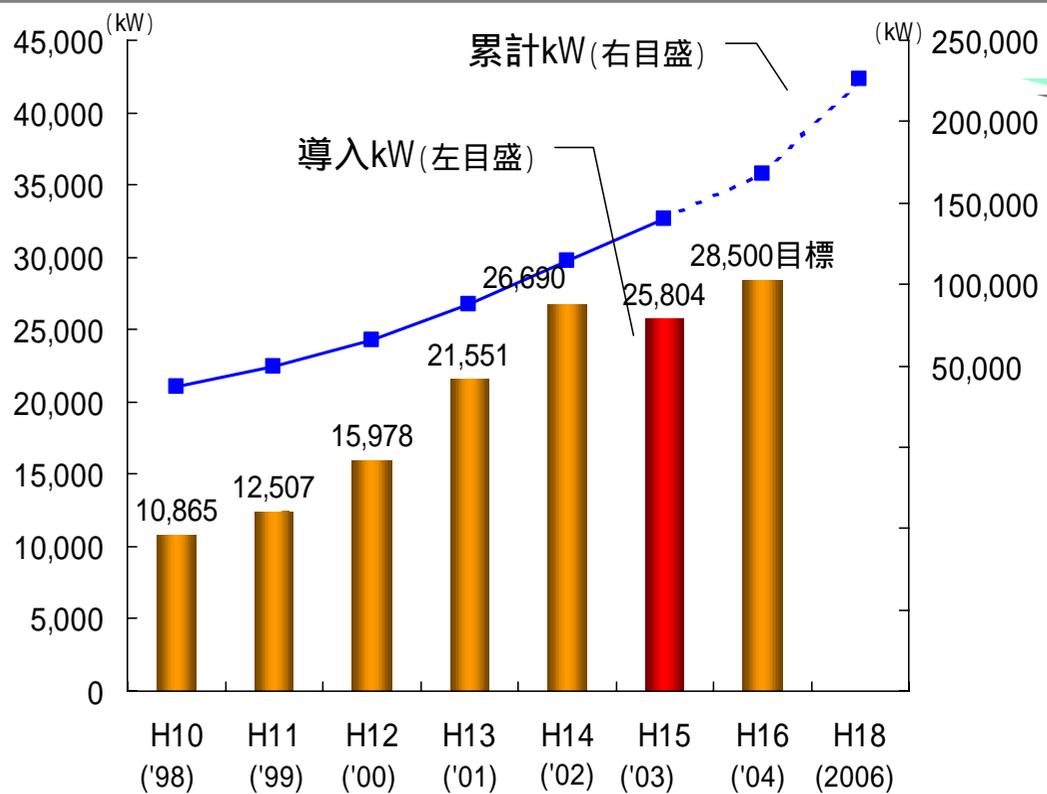
18年度までの  
 今後3ヶ年で  
**4万戸程度**  
 導入拡大



## - 6 . 業務用電化厨房の導入拡大

業務用電化厨房の16年度上期の新規導入kWは、  
**12,221kW・・・前年同期比8.6%増 (累計152,050kW)**

主な導入先は、学校給食施設、福祉施設、病院、スーパー、外食産業。  
 特に、東北の強みである、業務用電化厨房、蓄熱式空調システム、電気温水器を備えた**オール電化の学校給食施設**は、上期末で**累計32施設**と全国的にも先駆的位置付け。



**18年度までの  
 今後3ヶ年で  
 8万kW程度  
 導入拡大**



## - 7. 料金戦略（料金引下げ）

### 現 状

平成12年3月の電力市場の部分自由化以降

- ・ 他電力会社 新規参入者（PPS）への需要離脱が発生。
- ・ 当社 自由化対象（全販売電力量の4割弱）において、需要離脱はない。



平成17年1月から規制部門において4%台の引下げを実施

### 基本的なスタンス

#### 経営環境に適合した当社独自の料金戦略の展開

（考え方の具体的展開）

マーケティング強化によりお客さまのニーズを把握し、お客さまの期待に応える料金メニューの設定

（経営環境の的確な把握）

料金戦略は、需要動向・競争環境・経営効率化の進捗状況、財務見通し等を総合的に勘案

当資料は、東北電力の評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。当資料に掲載されております予測数字等は、東北電力の将来に関する見通し及び計画に基づく将来予測であります。従って、これらの業績見通しのみで全面的に依拠する事はお控え下さいますようお願いいたします。これらの将来予測には、既知・未知のリスクや不確定な要素などの要因が含まれており、その要因によって東北電力の実際の成果や業績、実績などは、記載の見通しとは大きく異なることが有り得ます。東北電力では、投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承下さい。

**お問い合わせ：東北電力(株) 経理部 I R グループ**

**ダイヤルイン：022(799)6086**